

令和6年度第3回和光市公民館運営審議会会議録

開催日	令和7年3月25日(火)				開会時間	14時00分
会場	中央公民館 会議室1				閉会時間	15時20分
委員の 出欠状況	佐藤 忠好	欠	富澤 勝	出	泉 常夫	出
	渡邊 丈裕	出	岸 佐登美	出	鈴木 紘子	出
	高野 靖子	出	長谷川 香月	出	河村 佳奈	欠
	田中 壽美子	出	田中 章子	出	原口 佐和子	欠
	大熊 真由美	出	柳下 創	出		
傍聴者	1名					
事務局	石川教育長、横山教育部長、細野生涯学習課長、山本生涯学習課長補佐 長峰館長、江口館長、南雲館長、戸枝主査、安達主査、平山主査					
議題	(1) 令和7年度和光市公民館事業計画について (2) 和光市公民館運営審議会のあり方について					

○事務局

和光市公民館運営審議会資料について説明

市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による
会議の公開について説明

第3回公民館運営審議会 開会

(教育長挨拶)

○泉議長

令和7年度事業計画、今後の公民館運営審議会のあり方について皆様のご意見をいただき、それを今後の運営に反映させていきたいという趣旨で今回第3回目となります。

まずこれまでも公民館でいろいろありました。特にコロナ禍後で、状況が変わってきています。

公民館のあり方自体、新しい形になってきているのではないかと、従来のいわゆる集会場としてだけではなく、新しい機能を付加した地域センターやコミュニティーセンター、防災・防犯に関する発信等、多種多様な機能が

これからの公民館には求められているのではないかと考えています。公民館は変わっていくべきものだと思っておりますので、皆様のご意見、ご提案をいただければありがたいと思います。

それでは、これから第3回目公民館運営審議会を開催します。
はじめに本日の出席状況について報告をお願いいたします。

○事務局

本日の委員の出席状況を説明いたします。本日の出席人数は11名です。
佐藤委員、河村委員、原口委員から欠席のご連絡を頂いております。

○泉議長

事務局から報告ありましたとおり、委員定数14名のところ11名のご出席ということで和光市公民館設置及び管理条例施行規則第11条第2項に定める開催要件の過半数を満たしておりますので、本日の会議は成立いたします。

なお、議事に入る前に、今回の審議会の会議録署名委員を指名させていただきます。渡邊委員と高野委員にお願いします。

(傍聴者入室)

○泉議長

議題に入る前に報告があります。前回、第2回公民館運営審議会につきましては、出席委員が定数に満たなかったため、後日書面会議として開催いたしました。

その結果について事務局より報告をお願いします。

○事務局

第2回会議につきましては、11月6日を意見交換会とし、当初の課題に沿った内容で議論を頂きました。

その後、欠席された方を含めた全委員に対し、12月20日を期限とした意見書をお願いし、この提出をもって会議とする書面会議を実施しました。

皆様へ事前送付資料として第2回会議録をお送りしています。

意見交換会にて出されたご意見と意見書の内容をまとめたものです。

ご意見、ご質問がある場合は発言をお願いします。

○泉議長

第2回公民館運営審議会議事録に対してのご意見やご提案がございましたら発言をお願いします。

昨今のタイムリーな話題としては、中央公民館の改修工事ですね。

○中央公民館長

3月21日をもちまして工事はすべて終了いたしました。

今回の主な工事は雨漏改修工事で、雨漏改修のほか1階ロビーの吹き抜け部分のLED化も行いました。国道側の植栽を撤去したことでロビーが明るくなったと利用者の皆様からお話を頂いております。

○泉議長

中央公民館が明るくなり、植栽に代わり壁に沿って花を置いてくださり華やかな印象になったと思います。設備が変わるとこんなに変わるのかという一例と思います。各公民館でやはり老朽化が問題になっておりますが、リニューアルが進めていかれたら公民館のイメージも変わるのではないのでしょうか。

ほかになれば次へ移ります。

次に本日の議題へ移ります。令和7年度公民館事業計画について事務局から報告をお願いいたします。

○事務局

三館共催事業、坂下公民館、中央公民館、南公民館の各事業について説明
(各公民館長)

○泉議長

事務局からの説明は終わりました。ご質問、ご意見はありますか。

○岸委員

南公民館の事業計画がすごくわかりやすいです。だしの取り方とか。スーパー公民館ディスコとか最高ですね。モルックとはなんですか。

○南公民館長

口で説明するには難しいスポーツです。1番から12番まである木の棒を狙って投げてピンの倒れ方を競うものです。検索してみてください。

市内でモルックができるところはあまりないですが、力が要らないので小学生や未就学児、高齢者の方まで誰もができます。

○岸委員

いいなと思いました。

中央公民館のIT WORLDの内容を教えてください。

○中央公民館長

IT WORLDの内容は、現在計画段階中ですが、子どもたちが定期的に外へ出るきっかけをつくるため週1回程度で考えています。

内容は、プログラミングでゲームづくり、ドローンを飛ばしたりなど、いわゆるITを使ったものです。

デジタルリテラシーの安全性を学びながら勉強してもらう予定で2か月で8回を予定しています。

公民館は本来どなたでも使っていただける場所ということもありますし、子ども達が家に閉じこもってしまっていると保護者の方が心配をしているという声を耳にします。

文部科学省の調査では、心の不安で学校に行けない子が多いと聞いています。保護者の方は学校に行かない子どもと家で1対1になります。子どもが定期的に外に出る機会を作ることによって保護者の不安解消の一つのきっかけ作りになればと思います。また、同じ悩みをお持ちの保護者の方が

集まってお話ができたり、経験者のお話を聞いて気持ちの余裕を持っていただけ場作りを座学ではなく講座として考えています。不登校のお子さん、保護者が対象になりますので、学校教育課、教育支援センターの協力が必要不可欠になってきます。事業を進めていくうえで色々と解決しなくてはいけないところを丁寧に実現させていきたいと考えています。

今回事業計画にも入れていますが、子ども達のために、IT、特に生成AIの使い方を公民館を使って勉強して頂きたい。プログラミング講座と不登校支援講座という形でそれぞれ事業を展開していきたいと考えております。

連携先については、既に前から話をさせていただいておりますので、事業はいつでも進められる状況です。

○岸委員

先日子ども食堂に田中委員と一緒に招待していただいて自宅で育てた冬瓜をお渡ししました。子ども食堂はとても工夫されており、食事だけでなく、食事後に歯科衛生士による歯磨き指導があり風船を膨らますと良いと指導されていました。

コミュニティセンターや地域センターには調理室がないところが多いですが、公民館は調理室が充実しています。子ども達に調理をさせることがいいと思います。

○泉議長

岸さんのお話のとおり、公民館はいろいろな設備があります。図書室、視聴覚室、和室、会議室もありますが、利用目的は多様化されています。ただ、部屋はフル活用されておらず、実際の稼働率は50～60%いってればいいほうかなと思います。公民館はそれぞれの地域性があり、例えば南公民館にお庭がありますし、坂下公民館は周りに神社・仏閣が多い場所です。だからそういった特徴を反映しながら今後は事業計画していただければいいかなと思います。今回の事業計画は去年、一昨年と比べるとシンプルでわかりやすい。種類も多く、皆さん色々検討して計画いただいていると感じます。

他の方でご意見いかがでしょうか。

○大熊委員

先ほどの話の続きになりますが、IT WORLDは、小学校高学年から中学生ぐらいが対象ですね。

実際に小学校高学年から中学生は特に男子になるとドローンを飛ばせると聞いたら是非やってみたいという子が多いと思うので、そうやって出てきてもらう事を大事にしている、中央公民館や坂下公民館で行われている親子でクッキング教室も、同じ様に、出てきてもらうことを考えて計画されたのかなと思います。

○中央公民館長

IT関連については、白子小学校・広沢小学校でパソコンクラブを実際に行っています。去年の中央公民館の夏フェスではドローン体験を行い、多くの方にお越しいただきました。

今、ドローンを飛ばすとなると、気軽にできない部分もありますが、そういった最新の技術に触れる機会も設けたく、今回の不登校支援事業で、子ども達がITの何に興味があるか調査しながら講座を考えていきたいと思っています。まず、きっかけづくりとして、こちらでスタートして、最終的には私の理想ですが、公民館利用者の皆様の活動に子ども達が参加できるようになればいいかなと考えております。

○泉議長

まずは外に出てくるきっかけですね。他に質問はありますか。

○富澤委員

3館共催事業の地域課題講座の地域課題とは何でしょうか。

○中央公民館長

大きな課題としてあるものは防犯防災とスマホ利用です。

今、どこにいても「パソコンを使ってください」「スマホを使ってください」という場面が非常に多くなってきています。そうした現代の流れに沿ったものを中心に、各地域ごとの課題解決というよりも市として住民の方たちがどういうことを一番の課題としているか調査し、最終的に三館共催事業として行っていこうと思っています。

今のところは防犯・防災・スマホを中心としつつ、それ以外にも公民館利用者が何う様々なお困りごとを課題に挙げ最終的に決定したいと考えております。

○富澤委員

自治会でも防犯防災に取り組んでいます。自治会の加入率は現在34%です。和光市民8万人ちょっとで自治会も10年ぐらい前は100を超えていましたが、今は89地区です。高齢化で役員の担い手が不足する中でどうやって自治会の加入者を増やすかが課題です。公民館は個人的に利用したことはありませんが、自治会連合会の会議や防災講座にも参加しました。自治会としてもヒントがある。こういうところを繋げていけたらいいなと思います。創意工夫して努力が感じられ、いい計画です、以上です。

○泉議長

ありがとうございました。公民館は地域課題の解決の場所です。

子育て世代あるいは高齢者支援の側面から見ると、ひきこもりで学校に来られないような子ども達のための事業はある程度重点が大きいですが、視点を変え、私たちのような高齢者、特にひきこもりの高齢者に対する支援や講座も考えていただきたい。公民館は高齢者から子育て世代まで全世代に利用していただける場所なので、次の年次計画で検討いただければいいのかなと思います。

他に何かございませんか。なければ次へ進めます。

次の議題として、和光市公民館運営審議会の在り方について、運営方法だけでなく公民館はどんなことをしていくかを含めて、皆様のご意見をいただきたいです。今の委員体制における2年間の締めくくりということで、公民館がこれからどういう形でやっていったらいいかご意見を願います。

○渡邊委員

私は市内校長会の代表として参加させていただきました。学校として、公民館と児童のつながりを考えていかなければいけないと考えております。

学校でもPTA、今は十文字学園大学と、色々連携協働していますので公民館でも単体でやるのではなく関係機関と連携しながら動くとともにさらに良い

と思います。

以上です。ありがとうございました。

○高野委員

私は、公民館にあまり足が向かない状況です。まず、イベント情報が入ってこないということがあります。子どもが在学中は情報が来ますが、卒業するとそれもなくなり、公民館が身近な存在ではなくなってしまいます。また、自宅の周りには公民館がなく、講座に行きたいと思っても足がありません。何かイベントをやる時、チラシに「和光市駅から何時何分のバスがありますよ」と入れてもらえると、そのバスに乗れば行けると分かります。近ければ歩いてでも行けますが、距離があると、例えば高齢者の足では難しい。イベントのアナウンスの際に一言、公民館行のバスの時間も知らせていただくと、高齢者も行きやすく、イベントに足が向くと思います。

○田中（壽）委員

私も、坂下公民館なら歩いて行けますが、中央公民館への足がなく、今日の会議もバスの時刻表を見てルートとにらめっこしていました。とにかく足がほしい。

また、女性は外に出るけど、男性は定年退職すると外に出ない人が多いと感じます。地域の行事も、女性は出るけれど、男性はあまり出ない。子ども達も家を離れているので、どうしたら男性を外に出せるかを公民館も活用して考えていきたい。

○大熊委員

PTAの代表として1年間参加させていただきました。いじめが原因ではない不登校がすごく増えている中、不登校向けの講座をまた新たに始めていただき本当にありがたいです。

また、今は公民館を利用しなくて大丈夫でも先はわかりません。シニア男性の引きこもり防止として、ゴルフレッスンや将棋大会などの講座をやるのもいいと思います。

○泉議長

外へ出る出ないはその方の性格によります。みんなでワイワイすることが得意でない方もいる。一概に人と交流するのが得意じゃないけど1人だったり子どもいると落ち着く方もいます。

事業プログラムは努力して作られていますね。そこに毎年多くの方が来てくれています。また、先ほどお話がありましたが、公民館は建物が古いので、電気が暗くトイレも暗かったのですが、改修して明るくしていただきありがとうございました。

○長谷川委員

日頃自治会等でお話を聞く機会があまりないので、2年間皆様とご一緒に子どもの抱える問題等が聞けて勉強になりました。以前の会議で高野さんが「スマホ講座を受講したけれどよくわからなかった」と話されていたのが、個人的に気になっています。

知り合いの高齢の方も「専門の方に教えてもらってもわからない。」と言っていました。例えば一般の方が教えて、「この時間に私がいるのでちょっとしたご質問でも気楽にいらしてください」とアナウンスしてくれるような、そういうボランティアが公民館の中であってほしいと思いました。

○泉議長

皆さんと同じ視点を持つ方がサポートについてくれる形でやっていけば、よりコミュニケーションがとりやすいですね。

教える人だけの観点ではなく、参加される方それぞれの理解度に沿う支えも必要ですね。

○柳下委員

坂下公民館選出の柳下と申します。私の妻が中央公民館でサークルの講師を務めております。料理を教えていて、インターネットで募集するとすぐ集まってきます。若い人はインターネットですぐに情報を探せます。公民館の情報がオンラインで簡単にアクセスできるようにする必要性を提案します。

○泉議長

ITの力を利用すれば、ちょっと検索すれば出てきます。

セキュリティの問題もありますが、イベント情報を検索すれば、すぐ分かる仕組みになっているといいですね。

○鈴木委員

2年間お世話になって私が感じたのは、公民館はどんな世代の方にも、私にとっても、居場所であるということでした。

公民館にはたくさんのサークルがあります。子どもにとってはサークルの長が知り合いで、自分の親も別のサークルの長という状況です。

私の子どもが市内の学校に通っていますが、卒業式に南公民館長が出席され、小さく手を振ってくださったということがありました。日頃勉強や待ち合わせで利用する公民館の館長の顔が見えるという、そういった地域との繋がりで、学校生活等での小さな不安も解消されていくと思います。

スポーツ好きな子が外で遊びたくてもボールを使ってはいけない時も、公民館の体育室が空いている時は子ども達に開放されています。スポーツをすることで、外に出るきっかけにもなります。

テレビやスマホもいいですが、やはり音楽やスポーツ等が一番安心できます。子ども食堂もたくさん開催していただき、公民館はこの2年間で随分開放され、オープンな場所になっています。

○田中副議長

長い間公民館にお世話になっています。コロナが起きて、コロナ前の公民館に戻っていけないと思っています。家が近いのでどんな方が利用しているかもわかりますが、本当に色々な方に使われていて、公民館っていいところだなと思います。公民館まつりもコロナ後やっと順調にできるようになってきました。ひとつ疑問ですが、公民館の事業費についてどのくらい予算が出ているかわからないのですが、公民館まつりができる予算が取れていますか。

○教育部長

昨年の実績を踏まえて予算を要求しており、また市役所全体の事業の中から、公民館の予算配分を決めています。公民館まつりに関しては、ほぼ

例年通りの額となっています。大きな事業を行う場合は、3年前から計画していただければと思います。

○泉議長

皆さんの意見を伺いました。私のほうからも幾つかお話をしたいです。6月の任期満了を控え公民館の在り方を改めて考えると、三つの「もっと」があるといいと思っています。

①地域の方、皆さんがもっと参加できるできるようにしてほしい

②公民館を利用される団体の方がもっと繋がってほしい、そのための仕組みを作ってほしい

③地域と公民館がもっと繋がってほしい

これが、私の公民館のこれからに対する思いです。

それからもう一つ、これは提案ですが、公民館に愛称をつけたい。

公民館は堅苦しいイメージがあると思います。愛称をつけることで親しみを持ちやすくする。例えば広沢総合複合施設の「わぴあ」や総合福祉会館の「ゆめあい和光」のような呼び名が公民館にもあってもいいのかなと。愛称をつけることで親しみやすく、より身近に、地域のブランドになると思います。

これをやるとしたら、どういう形で広く一般の方に募集をかけるか、あるいは公民館利用者だけに絞るのか、そういった方法も皆さんのご意見を聞きたいと思いますが、いかがでしょうか。

例えば、お子さんが中央公民館に行く時、「どこどこに行って来たよ」と愛称で言えるとより入りやすくなると思います。

次年度の審議会の中で審議して、そういった方向を考えていきたいと思っています。今ここにいらっしゃる皆さんには先にお話させていただきました。それでは今回の議題については以上になります。

それでは、事務局から連絡事項あればお願いします。

○事務局

今年度の公民館運営審議会は今回で終了となります。皆様、2年間ありがとうございました。次回の会議は、6月の委員改選後、新たなメンバーで行います。

今期委員をお勤めいただいた皆様には改めて感謝申し上げますと同時に、

来期もお引き受けいただける方は引き続きよろしく願いいたします。

なお、会議録の確認は現在の委員の皆様に行っていただきますので、それまでの間はよろしく願いします。

○泉議長

それでは、本日の審議内容は全て終了いたしました。委員の皆様からいただきましたご意見は、今後の公民館運営や主催事業に反映できるようにご検討いただければと思います。

本日はお忙しい中、長時間に渡りご意見をいただき誠にありがとうございました。これをもちまして、令和6年度第3回和光市公民館運営審議会会議を終了いたします。

会議録署名人

渡邊 丈裕

高野 靖子